

## 「豊橋・新城スマートインターチェンジ（仮称）周辺振興策に関する提案」

### 1) 物流の利便性向上に伴う産業の活性化及び定住人口の確保

八名地域には、現在3つの企業集積地があるが、既に完売済みで売地が無い状況である。スマートインターチェンジの開設は、物流の利便性が格段に向上するとともに、津波等の影響を受けない内陸地であることから、この地を選択肢として考える企業に対し進出の支援を検討すべきである。それに併せて、進出企業の勤労者や八名出身者、あるいは八名地域への居住希望者に対し魅力ある居住地として選択されるように、自然環境を活かした付加価値の高い住宅地の提供を行うべきである。

- ・大手企業を対象とした進出希望企業実態調査、それに伴う企業集積地整備
- ・「優良田園住宅の建設の促進に関する基本方針」の再検討や住宅建築に対する法規制の緩和
- ・新規住宅地の開発と空き屋等の再開発

### 2) 観光による交流人口の拡大及び地元特産品の販路開拓

八名地域は、自然豊かで、また、歴史・文化が息づく魅力ある地域である。スマートインターチェンジ周辺には、四季折々の植物が楽しめ、ハイキングコースも整備された五葉湖や大規模な優良農地があることから、これらの環境の充実と有効利用により観光客を誘致し活性化を図るべきである。併せて、道の駅などの設置による地元特産品の販売を検討されたい。

振興策の検討を進めるにあたっては、近隣のスマートインターチェンジ設置の計画等をよく調査し、豊橋市と調整をとりながら進めるべきである。

- ・インターチェンジ周辺の自然や歴史・旧跡等を活かした集客のしくみ
- ・観光客を対象とした農園整備を検討するとともに、地元特産品の開発と販路開拓
- ・車両の休憩所に併設した特産品販売所の設置（道の駅など）及びサイクリングセンターの設置等
- ・インターチェンジ周辺道路の安全対策と整備